

道の駅でパトライト作戦

市安協第1支部の活動



道の駅で赤色灯を点灯させ、安全運転を促した

ないことから、これまで支部としての主だった活動はしてこなかったが、今年度から笠谷支部長が就任。これを機に活動を活発にし、地域の交通事故撲滅につなげていくことになった。

この日のパトライト作戦はその第一歩。笠谷支部長は「交通安全協会は、会員の協力で運営されており、目に見える活動が必要。今後、もさまざまな活動に取り組んでいきたい」と話していた。

(伊藤)

市交通安全協会第1支部(笠谷俊一支部長)は24日、赤色灯を光らせる「パトライト作戦」を道の駅流氷街道網走前で実施。ドライバーに安全運転を呼びかけた。

春の行楽期の交通安全全運動(15―24日)の最終日に合わせたもの。この日午後5時半、支部の役員らが道の駅の駐車場に車を並べ、それぞれ車の屋根に

乗せた赤色灯を点灯させた。

ずらりと並んだ赤色灯は、ドライバーに注意を促すのに効果抜群。道の駅の前を通る道道網走港線は片側2車線で交通量も多いが、網走川沿いで視界も開けているため赤色灯は遠くからも視認でき、ドライバーもスピードダウン。安全運転を思い出させていた。

同支部は会員数が少

網走市ケーナ音楽活動紹介サイト「麦のささやき」

網走市交通安全協会第1支部が赤色灯で啓発



「思いやり運転を呼びかけたいです」と話していた。(備)

網走市交通安全協会第1支部(笠谷俊一支部長)は、市内の道の駅「流水街道網走」の駐車場で、赤色回転灯設置車両による交通安全街頭啓発を行った。

「思いやり運転を」

同支部役員5人が参加。自家用車に赤灯を設置し、道道網走港線を走るドライバーに安全運転を呼びかけた。

同支部は今年中に計5回、同道の駅前で赤灯による街頭啓発を行う予定。笠谷支部

長は「市民に思い

伝書鳩 平成28年5月27日